第 185 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録

A. 日時：2007 年 3 月 26 日(月) 10:00～11:50

B. 場所：東京・電気学会 会議室

C. 出席者(順不同，敬称略)：

委員長： 穂積(愛工大)

委　員： 礒嶋(住友電工)，中嶋(日立電線，杣委員代理)，高橋亨(ビスキャス)，岡本(富士電機アドバンステクノロジー)，清水(東芝)，加藤(新潟大)

幹　事： 田中康(武蔵工大)

幹事補： 岡下(昭和電線)，高橋俊(電中研)

以上計 10 名

D. 提出資料

番号なし	第 184 回 誘電・絶縁材料技術委員会 議事録(案)	幹事団
185-1	誘電・絶縁材料技術委員会 委員名簿	幹事団
185-2	第 71 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録	幹事団
185-3	電気学会 屋外用ポリマー絶縁材料の表面機能と長期性能調査専門委員会 第 4 回議事録(案)	本間委員
185-4-1	第 14 回 ナノ構造制御有機薄膜及び複合膜の機能化とデバイス応用調査専門委員会 議事録	加藤委員
185-4-2	第 15 回 ナノ構造制御有機薄膜及び複合膜の機能化とデバイス応用調査専門委員会 議事録	加藤委員
185-4-3	第 16 回 ナノ構造制御有機薄膜及び複合膜の機能化とデバイス応用調査専門委員会 議事録	加藤委員
185-5	調査専門委員会フォローシート(2007 年度計画)	幹事団
185-6	平成 19 年度 誘電・材料研究会，技術委員会，その他行事予定(0 次案)	幹事団
185-7-1	イオンマイグレーションの発生特性と防止方法 調査専門委員会解散報告書	幹事団
185-7-2	環境対応材料の電気機器への応用 調査専門委員会 解散報告書	幹事団
185-7-3	電力機器絶縁診断の経済性評価 調査専門委員会 解散報告書	幹事団
185-7-4	情報通信のための誘電絶縁材料 調査専門委員会 解散報告書	幹事団
185-7-5	ナノ構造制御有機薄膜及び複合膜の機能化とデバイス応用調査専門委員会 解散報告書	幹事団
185-7-6	電力設備の絶縁材料から見た劣化診断技術 調査専門委員会設置趣意書	幹事団
185-7-7	有機誘電体・半導体の物理と界面デザインに関する調査専門委員会設立趣意書	幹事団

185-7-8　有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性と
デバイス・センサ応用調査専門委員会 設置趣意書(案)　加藤委員
185-8-1　第 38 回電気電子絶縁材料システムシンポジウム開催提案書(第 1 次案)　幹事団
185-8-2　第 38 回電気電子絶縁材料システムシンポジウム開催案内および発表講演募集
幹事団
185-8-3　第 38 回電気電子絶縁材料システムシンポジウム スケジュール(案)　幹事団
185-9-1　2008 International Symposium on Electrical Insulating Materials
開催提案書(案)　幹事団
185-9-2　2008 International Symposium on Electrical Insulating Materials
Call for papers(案)　幹事団
185-9-3　四日市市 英文パンフレット　幹事団
185-9-4　四日市市文化会館の概要　幹事団
185-10　基礎・材料フォーラムについて　幹事団

E.議事内容

1. 議事録の確認，承認

高橋幹事補より第 184 回誘電・絶縁材料技術委員会議事録(案)の報告があり，一部語句修正の後承認された。

2. 名簿確認，新委員紹介

資料 185-1 が確認された。異動などにかかる委員交代については，各委員にて田中幹事まで連絡することとした。

3. 第 71 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録

資料 185-2 が穂積委員長より報告された。調査専門委員会の解散報告書，設置趣意書については，電気学会の web site に掲載されている最新のフォーマットにしたがって作成頂くよう，委員長から依頼があった。

4. 屋外用ポリマー絶縁材料の・・・調査専門委員会

同調査専門委員会の第 4 回委員会議事録(案)として，資料 185-3 が本間委員に代わり高橋俊幹事補より代理報告された。

5. ナノ構造制御・・・調査専門委員会

同調査専門委員会の第 14 回，第 15 回および第 16 回議事録として，資料 184-4-1～184-4-3 が加藤委員より説明があり，第 16 回をもって同調査専門委員会の活動を終了したことが報告された。

6. 調査専門委員会フォローシート

資料 185-5 に基づき，田中康幹事より説明があり，以下の事項が確認された。

・「機器絶縁の最新部分放電計測技術」および「高電界電気絶縁における電界挙動と界面」は穂積委員長より各委員長に現状を確認することとした。

・「ケーブル・電気機器のオンライン計測による絶縁劣化診断」は技術報告が出版され，全ての活動を終了したため，削除することとした。
・「有機誘電体・半導体の物理と界面デザインに関する」および「有機薄膜及び複合膜のナノ界面物性とデバイス・センサ応用」を次回から追記することとした。
・インバータサージ関連の調査専門委員会は，放電技術委員会と調整中である旨，委員長より報告された。
・アセットマネジメント関連の調査専門委員会は，新日本石油・池田氏を委員長とする方向で検討中の旨，委員長より報告された。
・空間電荷関連の調査専門委員会は，武蔵工大・高田先生を委員長とする方向で検討中の旨，委員長より報告された。
・調査専門委員会は常時 6 委員会程度を運用することとしたい。このため，新規委員会の開始時期を調整させて頂くことも視野に入れる旨，委員長から指摘があった。

7. 平成 19 年度 誘電・材料研究会，技術委員会，その他行事予定(0 次案)

資料 185-6 に基づき，田中康幹事より説明があり，以下の事項が確認された。
・平成 19 年度のシンポジウムは第 38 回であることが確認された。
・H20 年 2 月の研究会テーマを「劣化診断・アセットマネジメント・機器ケーブル絶縁一般」とすることとした。
・H20 年 3 月の全国大会(福岡工大)でのシンポジウムは，「高分子と放射線・・・」調査専門委員会にて担当することとした。

8. 調査専門委員会 解散報告書および設置趣意書(案)

資料 185-7-1～185-7-7 に基づき，高橋俊幹事補より説明があった。なお，これらの資料はメール審議にて審議済のものであり，A 部門研究調査運営委員会にて承認済のものである旨，高橋俊幹事補より報告された。

また，資料 185-7-8 が加藤委員より説明され，技術委員会として承認された。

9. 第 38 回電気電子絶縁材料システムシンポジウムについて

資料 185-8-1～185-8-3 について高橋俊幹事補から説明があり，以下の議論があった。
・産学連携セッションは穂積委員長にて調整中である。
・企画セッション，招待講演(第 2 日目午前)は三菱電機・木村氏にて調整頂いている旨，委員長より報告があった。

10. 基礎・材料フォーラムについて

資料 185-10 に基づき，高橋俊幹事補より説明があった。誘電・絶縁材料技術委員会としては，A 部門研究調査運営委員会での動きや財政面での問題点を考慮しながら，幹事団にて今後の対応や展開を検討することとした。

11. ISEIM2008

資料 185-9-1～185-9-4 に基づき，高橋俊幹事補より説明があり，以下の議論があった。
・International Advisory Committee の人選については，2 号委員を中心に協力頂き，4

月上旬には人選を終了させることとした。

・Call for papers のはがき欄を廃止し，会場案内やアクセス等について掲載することとした。

F. 次回委員会

2007 年 5 月 24 日(木)　愛知県岡崎市・中部電力 岡崎支店 会議室にて

(分子科学研究所の見学会あり)

以上